

ロータス Web

医療法人北斗会広報
第99号 2008年 4月10日発行

芝蘭について

芝蘭は先代の号で、このいわれについては次のように87年の職員向け毎月のメッセージ、「月信」に載っています。

(前略)『「芝蘭」とは私の子供の頃からのペンネームである。その由来は私は小学校の時から乱視と近視で眼鏡をかけていた。父は目がランシだからペンネームをシランと付けたらよいと機知を出してくれた。そして芝蘭

(中国産の非常に良い香りのする蘭だとの事)の字を当てはめた。中国に「君子(立派な人格者)は芝蘭の室に居るべきだ(常に身辺を清浄に)」という言葉がある。』(後略)

この芝蘭という言葉は、今は一真堂がその役割をになった芝蘭会に、そして今もケアつきアパートに使っている芝蘭荘に使われています。この芝蘭は看護学校前の日本庭園、露潤庭で今満開となっています。ぜひ見ていただきたいと思います。

(追記)

先日、4月8日の夜から朝にかけて読売新聞からの取材を受け、記事は4月15日、16日の2回に分けて読売新聞医療ルネッサンスに掲載されたので紹介します。

理 事 長



(4月15日読売新聞医療ルネッサンス掲載)

医療ルネッサンス

No.4327

●シリーズ
こころ

精神科救急 ①

精神科専門のさわ病院（大阪府豊中市）の正面玄関は、平日も休日も午前6時に開く。診療開始まで3時間あるのに、近くに住む患者が次々と入ってくる。外来のソファで朝食を食べる人、廊下を行き来する人など、過ぎし方は様々だ。

「一番安らげる場所なのかもしれない」と当直の看護師森田妙子さん。24時間体制で患者を支えるこの病院で今月初め、記者は通常の診療時間外の医療活動をつぶさに見た。

午後5時、市外の70歳代の女性が救急車で来院した。自分がどこにいるかわからず、意識がもうろうとしたり、騒いだりする老人性せん妄の状態だった。

毎晩、医師と看護師各一人が救急にも対応する。昨年の夜間外来者は1059人、夜間入院者は681人にのぼる。通年で夜間体制を取る精神科病院は数少ない。

この女性は精神科診療所



電話対応に追われる澤温さん（右）と森田妙子さん（大阪府豊中市、さわ病院で）

24時間体制 救いの場

を受診したが、入院が必要な状態で、対応できる施設を医師らが電話で探した。「満床」などと断られ続け、1時間以上してやっと見つかったのが同病院だった。

この日の当直で院長の澤温さんは、女性の入院を決め、その後は、時間外の外來診療に追われた。

の若い女性は「会社内の異動で仕事が変わり、新しい人間関係に疲れる。自分を消したい」という。澤さんとしばらく話するうちに次第に落ち着き、「自分を否定しても始まらないですね」と笑顔を取り戻した。

続いて、対人恐怖症の若い男性を診察。人が多い昼間の病院は怖くて受診でき

ないという。夜間診療は、このような患者にとっても救いの場となる。

午後8時59分、外來診療の最中、電話が鳴った。兵庫県の救急隊からだ。うつ病のため、同病院で前日に処方した抗不安薬や睡眠導入剤などの薬を過量分を一度に飲み、自殺を図った30歳代の女性を救急車に乗せたという。命にかかわる量だ。

「すぐに近くの病院で胃の洗浄などを行い、内科的に問題がないか確認してください。その後は、うちが引き受けます」。診察中の澤さんに代わり、看護師の森田さんが対応する。

20分後、再び救急隊から電話があった。「市立病院は満床のため、処置後に搬送できる病院があれば胃洗浄もできないと言われました。本当に受け入れてくれるんですね」

瀕死の女性は、まだ救急車の中にいた。

(4月16日読売新聞医療ルネッサンス掲載)

医療ルネッサンス No.4328 シリーズ 精神科救急 2

「傾眠状態」とし、意識が戻りかけている。連絡を受けていたが、の澤温さんが対面す「昏睡状態」だった。押ししても反応がなく、吸入や気道の確保が。だ。澤さんは市立病院話した。

自殺目的で多量に服した精神疾患の患者は、再び自殺を図る恐れなど、一般病院では受け入れられることが少なく、服薬自殺を図った。府豊中市)に着いた。後11時50分。兵庫県の市立病院で胃の洗浄など、処置を受けた後、転送された。

受け入れ「うち以外ない」

「これは昏睡状態で、内科医がいないうち、対応が難しい。救命救急隊に運ぶべきです」と、緊迫したやりとり。だが、アルバイ直だという市立病院は「命に別条はない」。救急隊は「うち以外ない」。救急隊の集中治療室で、救命医療の経験がある。救急隊の当直医が診ることに。救急隊は「うちで受け入れられない」と判断。午前0時過ぎ、更に2台の救急車が到着。1人は眼。救急車を呼んだ統合失調症の50歳の女性。もう1人は「仕事で大阪市に宿泊中、てんかん性のぶらぶら状態となった中部地方の50歳の男性だった」。大阪府では、精神科病院が救急の輪番を継ぎ、連日、4、6施設が交代で対応している。だが、参加施設は府内59病院の半数に満たない。24時間にとどまる。夜間や休日には電話もつながらない。精神科診療所が増え、その患者が救急を利用する。とも増えてきた。一般病院では、24時間体制で通院患者に対応し、大阪府の輪番にはほぼ毎日参加している。この夜は、4台の救急車がやって来た。外来での対応が10人、3人は入院した。「眠れない」などの電話も件数多かった。現在の精神科医療は、入院期間を抑えて外来で治療する流れになっており、自宅などの状態の悪化に対応した精神科救急の必要性が高まっている。澤さんは「自院の患者さへの24時間対応は医療機関として当然。今後は、診療所の医師が近くの病院の夜間救急に参加するなどの体制整備が必要」と話す。早朝、集中治療室の女性の意識が戻りはじめた。診療開始3時間前の午前6時、近くの患者が集まりだした。いつものように正面玄関を開けた。さわ病院は今



深夜に自殺を図った女性が、さわ病院に搬送されてきた。(大阪府豊中市で)

「これは昏睡状態で、内科医がいないうち、対応が難しい。救命救急隊に運ぶべきです」と、緊迫したやりとり。だが、アルバイ直だという市立病院は「命に別条はない」。救急隊は「うち以外ない」。救急隊の集中治療室で、救命医療の経験がある。救急隊の当直医が診ることに。救急隊は「うちで受け入れられない」と判断。午前0時過ぎ、更に2台の救急車が到着。1人は眼。救急車を呼んだ統合失調症の50歳の女性。もう1人は「仕事で大阪市に宿泊中、てんかん性のぶらぶら状態となった中部地方の50歳の男性だった」。大阪府では、精神科病院が救急の輪番を継ぎ、連日、4、6施設が交代で対応している。だが、参加施設は府内59病院の半数に満たない。24時間にとどまる。夜間や休日には電話もつながらない。精神科診療所が増え、その患者が救急を利用する。とも増えてきた。一般病院では、24時間体制で通院患者に対応し、大阪府の輪番にはほぼ毎日参加している。この夜は、4台の救急車がやって来た。外来での対応が10人、3人は入院した。「眠れない」などの電話も件数多かった。現在の精神科医療は、入院期間を抑えて外来で治療する流れになっており、自宅などの状態の悪化に対応した精神科救急の必要性が高まっている。澤さんは「自院の患者さへの24時間対応は医療機関として当然。今後は、診療所の医師が近くの病院の夜間救急に参加するなどの体制整備が必要」と話す。早朝、集中治療室の女性の意識が戻りはじめた。診療開始3時間前の午前6時、近くの患者が集まりだした。いつものように正面玄関を開けた。さわ病院は今

＊御意見箱への回答＊

Q：薬剤部のフロアに薬剤部と書いていただけたら、どうですか。はじめての人はわからないみたいで、「お薬どこでもらうんですか」と聞いたはる。

A：ありがとうございます。早速検討してみます。

Q：朝の体操は朝の空気を吸って生活リズムをよくします。院長体操を復活させてください。

A：火曜と木曜やっていましたが、火曜は外来の合間でできなくなり、木曜も外来の申し送りと引っかかりしてできなくなりました。時間の調整が必要ですが、直接私を見かけたら声を掛けてください。あの足上げ体操とフリフリグッパは大事な体操と思っていますから。

Q：私らは薬の副作用でどうしても便秘になる。便秘になったらどんなおなか痛かは看護師には解らない。そこで下剤なしで便秘を直す、何かようきく体操はありませんか。

A：適切な水分、食事内容、そして適度な運動、そしてだめなら下剤となりますが、この適度な運動の中に体操があるでしょう。犬が歩くと途中で便意を催すように、私たちも歩くと腸の動きがよくなって便通がよくなることもあります。他に体操ではありませんが寝てお腹の上に手を置いて押し付け、腸の流れに沿って、へそから右下そして右上、左上、左下と「の」の字を書いて便を動かすことが推奨されています。とはいろいろあるようで、どれも腹圧がかかるように、体をねじったり、寝て首を何秒かもたげたり、足を屈曲して頭の方まで持ってきて腹圧を掛けたりするようなものがあるようです。

Q：待合所のテレビに時々順番待ちが表示されるがあれを画面下か上にスクロールさせるようにして常に表示させて欲しい。

A：ありがとうございます。検討してみます。

Q：もう9年通院しているものですが、先生が度々変わります。今は曜日を決めて通っていますが、他の曜日がどんな先生かわかれば、その曜日に変更してみたいとも思っております。先生の顔写真や経歴、その他簡単なプロフィールなどを掲示できないものでしょうか？

A：他の医療施設の状態を含めて検討してみますが、最終的には訓練を受けた精神科医といえども相性があるようです。医師が変わるのは当院が教育病院であったり、救急病院であるため医師の動きがあるので御不便をお掛けして申しわけありませんが、決まるまでは曜日を変えて何人かの医師を訪ねていただくのも一法です。外来はどの医師を訪れてもいいことにしてありますので。ただし込み具合と、それにより面接に掛けられる時間に差はあるかもしれませんが。

Q：C3病棟が男性病棟になったのはなんでですか？入院中のケースワーカーが1人って言うのも不便だと思う。

A：ケースワーカー（精神保健福祉士）の配置は現在の保険制度では、救急病棟、急性期病棟、認知症専門病棟で必置です（病棟によっては臨床心理士でもよいのですが）。当院では少なくともどの病棟でも1人を配置しているのは評価していただきたいと思います。C3病棟は比較的入院が長い方が入院しておられ、退院には病状の改善の上、住む場の解決などしなければ退院に結びつきません。その意味で精神保健福祉士の役割は大きいと考えています。1人で不足というのは、何か頼みたくても後回しにされたり、頼んだことがすぐ解決しない、あるいは時間がかかるとかという説明がないのでしょうか？具体的に不自由を感じられる点を、再度投稿いただければ検討し、あらためてお返事をさせていただきます。

Q：メディアに対して、オーディエンスが障害をおびえさせる又は奇異なものだと思わせないようにしてほしい。ほとんどの病者がノーマルだから。

A：その点は最も大事な点で、当院で取材を受ける場合も注意している点です。障害は誰でもなりうるものだという事、そしてなってもほとんどの人は早期に改善し、社会に帰っていくのだということ国民が理解しやすいように報道してくれることを協力の条件としています。

Q：ケイタイ等で予約がとれたり、現在〇番まで呼ばれているのか、ケイタイで出来るようにホームページを作ってほしい。（ご近所の方や会いたくない方にあたり、待ち時間が長い）（ほくとクリニック）

A：ありがとうございました。すぐには出来ないかもしれませんが、検討してみます。

Q：マッサージ機を使用したい時使用できない（待っている人が座っている）。マッサージ機を使用しない人は座らないようにしてほしい。

A：2002.12（67号）より

外来の看護師や受付の事務員にそっとおっしゃってください。ご利用いただけるようにこちらから声を掛けさせていただきます。

Q：さわ病院で働かれている皆様へ。全員の方に分かってほしい事があります。それは“患者を決して馬鹿にしない事です。患者は皆、好きで病気になったものではありません!!その事を頭にたたき込んで仕事して下さい。患者家族

A：具体的な内容ではないので詳細が分かりかねますが、当院はペイシエントファースト（病む人を第一とする）を法人の理念に入れており、職員一人一人が心がけております。しかし、お気づきの点があれば、常に教育をしていきますので詳細

を再度記入していただきたいと思います。

Q：若い女の先生にみてもらいました。ありがとうございます。

ハイネックのシャツにネックレスはどうなのでしょう。先生らしいかっこうで次回はお願いします。

Q：外来の先生方の言葉使いをもっと丁寧にお願いします。上から目線でものを言われると辛いです。聞いてあげているという姿勢がうかがえるのが残念です。テーブルにジュースの缶など置いているのも不愉快です。改善をお願いします。

A：当然のことではありますが、各医師がそれぞれ自覚をもって、適切な言葉使いと診察態度、ふさわしい身だしなみなどについて気を配るように診療部で話し合い、確認しました。ご指摘ありがとうございました。（診療部）

Q：いつもダイニングでおいしい食事をいただき、ありがとうございます。火曜日のメニューなのですが、いつもめん類なので、たまには、カレーとか天ぷらなどもいただけないでしょうか？勝手ながら、火曜日だけ、利用しているものですから。

A：麺類の献立は、冷凍麺を使用しているため、どうしても冷凍庫が空いている月曜日の納品でないと冷凍庫に入りきらないことや、外来患者様の希望もあり人気のある麺類を利用者の多い曜日になっているため火曜日になっています。これらの事情よりなかなか変更しにくい状況となっておりますが、今後ともご意見を参考に検討を重ねてまいります。（食養課）

Q：火曜日のめんの時のおそばの麺がまずい。もっとこしのあるしこしこした麺の業者に変えてもらえませんか。

A：当院で使用のおそばは冷凍麺を使用しています。茹で麺よりこしがあるので院長の

指示もあり、使用していますが、残念なことに茹たてでもお店で食べるそばよりしこししていないようです（価格も茹で麺より高く、他の病院での使用は少ない状況ですが）。

あちこち業者もあたり検討していますが、冷凍麺では現在の状況がやっとなのです。施設によっては伸びるので、冷たいそばしか献立にださないところもあるほどですが（冷たいと確実にこしは出ます）、当院では患者様の希望もあり、温かいそばもメニューに入れています。

今後とも業者とも相談し少しでも食感のいいものを探していきますので、今しばらくご辛抱くださるようお願いいたします。（食養課）

Q：ダイニングのみそ汁が最初からついであるのでさめてしまっている。個人個人つがしてほしい。

A：申し訳ありませんでした。調査したところダイニングの夕食時のことのように、5時からのご利用にも関わらず、5時前から味噌汁を盛っていたようです。

事情を聞くとご利用される方の中には「早くしてほしい」と急がされる方がいらっしゃるようで、このため事前に盛っていたことでしたが、おそらく早く盛りすぎたのではないかと思います。今後はこのようなことがないように指導しておりますが、お気づきの点がございましたら今後ともご意見をいただきたくお願いします。（食養課）

Q：カンパンの非常食がダイニングでfreeで配られていました。昨年頂いたカンパンは硬くてしんどかったけど今度のは歯にやさしくやわらかいカンパンで食べやすかったです。

A：阪神淡路大震災以降、当院でも非常食を設置しています。非常食はカンパン（昔からある硬いもので5年保存ができる）とパン缶（最近できた柔らかいパンのようなもの。3

年保存）の2種類とツナ缶や飲物、レトルトの粥などがあります。

この非常食のカンパンは5年に一度賞味期限が切れる前に入れ替えるため、使わなかった分をダイニングご利用のみなさんに持ち帰っていただいておりますが、今年の方はパン缶といってカンパンが食べられない方用の柔らかいものを持ち帰っていただいたため、歯にやさしかったと思われまます。賞味期限が同じであればすべて柔らかいものでいいのですが賞味期限に2年の差があるため、硬いものと柔らかいものを利用しています。

次回は2011年に柔らかいパン缶が、その翌年に硬いカンパンの入れ替えを予定しています。（食養課）

■ご意見

・一年近く入院してありますが今まで入院した他の病院よりゆっくりさしてもらった。ごはんがおいしかった事が何よりもうれしかった。15kg太ってしまったのがちょっと失敗だった。どうもありがとう。

・人間は生きている限り、向上心を持たねばならない。それは役職に就くということではなく、自分を磨き、物事の判断を間違えないようにすることだと思います。相手を思いやることができたなら、自分を向上させることにつながるのです。決して難しいことではないと思います。

*個人名宛で戴いているものについては掲載は致しませんが調査又は個々に申し伝えております。

*意味不明のもの、解読できないものについては割愛させていただきます。ご了承ください。

「統合失調症の意味を考える」

里緒

私の幻聴は謎を、仕掛けてきます。「気付け気付け」と叩きます。しかし、9年目にしようやく、ぼんやりとわかってきました。この病気の偏見で苦しむ人を助けるために、自分なりに何ができるか考えて、行動すること。世界の流れを正しい方向に導くために、勇気をもって声をあげること。

よく聞くと幻聴の中には応援のメッセージも入っています。この現状を自分は巫女だとあきらめ、又、受け容れて、その役割を果たすべきです。痛みや、苦しみに、それを味わう意味があります。自分だけが…と、悲観的にならず、立ち向かえる強さを身につけて欲しいと思います。

君の背中に/白く輝く大きな羽が見えるよ/
今にも飛び立ちますって/
そんな予感をはらんでいる
やっと見つけたんだね/自分の思いを/
嘆きの天使は/ずいぶん 横顔が/
りりしくなったよ
どんな奇跡を/起こせるのか
僕はもう少し黙って/君を世界を見守っている
一私に降りて来た神様からの言葉—
(御意見箱への投書より)

行 動

岩佐 徹

結果を恐れず、すぐに行動に移す。良い結果を得るため熟慮してから行動に出る。結果と並行に考えながら行動する。さて、自分は、どれに当てはまるだろう。まず、やることだ。いや、良い目的をもって。それともよく考えつつ。それらは、場合場合によって、異なるのではなからうか。

十分に考える暇が無い。時間的に余裕がある。考えながら妙案が浮かんで来る。将棋の場合なら何手先までも読むだろう。国会の法律審議なら論議を尽くしてからか。サッカーの試合なら瞬間的判断も必要だろう。いずれの場合でも好結果を得ようとして行動することに変わりはない。

見切り発車的行動よりも、枠にはめられた目的

に向かうよりも、そこは臨機応変、好結果を生みつつ進んで行けばよからう。待てよ、これも優柔不断と隣り合わせかな。

そこで自分の場合である。まず、計画を立てる。一步踏み出すが、三日坊主の計画倒れだ。計画が崩れる場合でも、自らの意思の弱さからもあるが、外的環境要因のせいもある。だが、外部の原因にしたくない。全て自分が悪いのだ。運命や宿命で片付けてしまえばそれまでだが、即座にスタートを切らなかったから、考えが甘すぎたから、応用力が無かったからなど、それらで今の境遇が待っていたと思う。

では、これからも、どう自分を改善してゆけば良いのだろう。目的など浮かんで来ない。しかし、自虐的にならずに、もう一度自己を振り返ろう。

朝日を覚まして、床から起きることから始まるのだ。生きる喜びと未来に向かって走る自分が居る。時間消化の過程を経て一日が終わる。

すぐに起こした行動であろうと、考え抜かれた先の行動であろうと、考えながらの行動であろうと、いつかは、安息という目的にたどり着く。

以上。

(御意見箱への投書より)

* 家族会だより *

父の思い出

さわ病院家族会
藤沢あつ子

ラジオのある番組で「たたく」というテーマから、拍手、太鼓をたたく、肩をたたく、わるさをした犬をたたく、ある議員のこと新聞でたかれたとか話されていた。その時、私の脳裏に父が浮かんだ。私の子供の頃、父は村の用事のお役目を持っていた。そんなわけで私の家にはよく人が集まった。父はその都度、お酒を振舞っていた。何本かの中のとっくりが、空になると台所でお燗かんの準備をしている母に、ポンポンと手をたたいていた。台所までには少々距離があったが、がっしりとした大きな父

の手はよく台所に伝わった。母は始終父からの合図を気をつけていたらしく、側にいる子どもにお燗の出来てるとっくりを持たせた。おぼんの上のとっくりの中のお酒をこぼさないように、そろり、そろりと歩みながら父の所へ運んだ。

ラジオから流れたちょっとしたテーマから思いついた父のこと、嫁して四十余年、すっかり忘れていた子供のころの情景が、よみがえった。人の心の中には計り知れないくらい人生のプロセスを奥底にしまっていてくれるのだと一。そして何かの必要がある時、脳裏に浮かばせてくれるのかとしみじみと味わいました。今は亡き父や母も、そのころは若くて、元気一杯だった姿がなつかしく思い出されました。

DC 田中克明

以前に通院医療費公費負担制度というのがあったのを覚えておられますか。簡単に言うと精神科の外来の医療にかかる自己負担の軽減の制度のことを指します。年明け早々大阪府知事選挙があり橋下知事が誕生しましたが、良い悪いはさておきスローガンが『聖域なき財政改革』とのこと。私が以前の公費負担制度から自立支援医療に移行する時の事前説明会でのこと、気になっていた国民健康保険を利用して外来の精神科医療を受けておられる方への府の助成についての質問に、大阪府の偉い課長さんが「当面は変わりなく補助されると思いますよ」と返答をしていたのを覚えています。ただそれと同時に毎年増加する公費（大阪府）の負担が財政を圧迫しているとも付け加えておられました。当時（平成17年）で年間120億ぐらい（旧の育成医療費が入っているかどうかはわかりませんが）の支出されているのかはわかりませんが、橋下知事がこれに手をつけないという保障は何もないし、しばらくは注意して様子を見るしかないのかなあと気になっています。手をつけるとなると国民健康保険で精神科の外来医療を利用されている方の自己負担は減ることはまずなく、増える方が多く出てくるかもしれないということです。

* 会員入会のご案内 *

平素は当院の診療に関し、なにかとご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、ロータスクラブは入院患者さん・ご家族・職員の交流の場ではじまり、外来の患者さん・地域の方との交流の場、他の障害者との交流の場へと育ってきました。

今年も「ロータスクラブ規約」と「入会申込書」を同封しご案内申し上げます。ご協力戴ける方は申込書にご記入の上、A棟2階「地域保健福祉総合サービスセンター総合案内」までご提出戴きますようお願い申し上げます。

* ロータスクラブの ご案内 *

★行事予定は次の通りです。

2008. 5. 18 (日)

第12回ロータスワールドフェスティバル

2008. 7. 26 (土)

第20回中豊島夏まつり

* 原稿募集 *

皆さんからのご投稿は御意見箱にてお待ち致しております。備え付けの「医療法人北斗会へのご意見」用紙にご記入下さい。用紙の下段に掲載のご意向を記入していただいたご投稿についてこの紙面にて回答させていただきます。尚、一つのご意見につき400字以内におさめて下さい。また、多数お寄せ戴いた場合には、順番に掲載させていただきますのでご了承ください。

* ロータス 医療法人北斗会広報 *
* 第99号 2008年 4月10日発行 *
* 発行責任者：理事長 澤 温 *
* 編集担当者：鹿島 裕未 *
* 印刷所：ロータスアート 印刷部 *
